

025

## 災害備蓄の可視化・一元化プラットフォームで、災害要配慮者に適切な避難食を提供

取組主体

ベル・データ株式会社

従業員数

想定災害

実施地域

260人

全般

全国

・防災備蓄プラットフォーム”BxLink（ビーリンク）”を通じ、災害備蓄の管理を可視化・一元化することにより、誰もが安心・安全な備蓄食を手にすることができる世の中を目指す

### 1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

#### 一般的な備蓄食を食べられない方たちに、備蓄食を届ける仕組みづくり

- ・全国の中堅・中小企業に対して、ITシステムの構築・開発、保守・運用を提供するベル・データ株式会社は、同社が提唱する「備蓄食に関する20%問題」の解決に向けた取組を促進している。
- ・同社の独自推計（※）によると、食の制限のある傷病者、アレルギー患者、乳幼児や高齢者等の要配慮者、宗教等食の制限のある外国人居留者等の一般的な備蓄食を食べられない方たちが、人口の約20%存在している。  
※国勢調査等の人口データ、アレルギー疾患患者や腎疾患等患者等の要配慮者に関する統計データを組み合わせて推計
- ・小規模な自治体では、防災備蓄のための予算が不足しており十分な数量の備蓄を行えていない場合も想定される。更に、一般的な備蓄食を食べられない方たちに配慮したラインナップとなっていない場合も想定される。同社では、上記のような課題を解決すべく、クラウド上で備蓄品の在庫や種類を一元的に可視化できるシステム「BxLink（ビーリンク、以降 BxLink）」を活用して、自治体同士の広域連携や民間企業との連携を促進している。
- ・同システムは、入出庫や移動、棚卸時に入力結果をリアルタイムに反映し、常に正確な備蓄を表示するだけでなく、住民の属性に合わせて過不足をシミュレーションできる。シミュレーションの機能としては、住民の人口構成（年齢別 x アレルギー患者人数、腎疾患患者人数等の食に関する要配慮属性）に合わせて、必要な備蓄数量を算出する。これにより、目標値に合わせて現有の備蓄品リストの中にある品目をどの程度備蓄するかを調整することができるようになる。

#### 備蓄計画ウィザード

避難者属性別の充足度				備蓄食数量						
避難者属性	想定人数	在庫スコア	判定	大分類	中分類	小分類	品目名	属性	カロリー	計画値
乳児（0-5か月）一般	15	100%	OK	食料	主食類（米・パン等）	主食類（米・パン等）	マジックライス保存食 五目ご飯(袋)		380 kcal	80
乳児（0-5か月）-食物アレルギー保持者	9	0%	NG	食料	主食類（米・パン等）	主食類（米・パン等）	マジックライス保存食 梅じゃご飯(袋)	アレル	374 kcal	30
乳児（6-11か月）一般	15	100%	OK	食料	主食類（米・パン等）	主食類（米・パン等）	マジックライス保存食 炒飯(袋)		366 kcal	50
乳児（6-11か月）-食物アレルギー保持者	9	0%	NG	食料	主食類（米・パン等）	主食類（米・パン等）	マジックライス保存食 牛飯(袋)		376 kcal	23
幼児（1-2歳）一般	33	100%	OK	食料	主食類（米・パン等）	主食類（米・パン等）	安心米 おこげカレー味(袋)	アレル	248 kcal	87
幼児（1-2歳）-食物アレルギー保持者	9	100%	OK	食料	主食類（米・パン等）	主食類（米・パン等）	安心米 わかめご飯(袋)	アレルハラ	364 kcal	100
幼児（1-2歳）-食物アレルギー保持者	9	100%	OK	食料	主食類（米・パン等）	主食類（米・パン等）	安心米 五目ご飯(袋)	アレルハラ	361 kcal	26

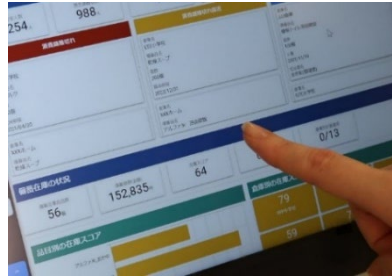
#### シミュレーション画面（備蓄食数量と避難者属性別の充足度）のイメージ



- ・また、防災備蓄に関するデータ連携、自治体同士の在庫状況の可視化機能を提供している。BxLinkの備蓄計画機能では、自治体の防災備蓄の計画立案を支援し、計画値と実在庫数の充足率をダッシュボードとして表示できる。また、複数の自治体の防災備蓄情報をBxLinkで統合管理することで、自治体同士がお互いの備蓄を確認しあえる環境を構築している。この連携機能は民間企業も使用することができるため、行政と民間企業が備蓄データを連携し、官民連携のためのデータ連携基盤としても機能している。
- ・現在、自治体が本来保有すべき備蓄を、民間の流通在庫に置き換えることに取り組んでいる。一般的に、行政と民間企業が締結する災害備蓄協定は、災害発生時になるまで、民間から提供する物資の数量について約束されていないことが多い。一方で、本取組においては、自治体と民間企業の間で約束された数量の在庫を、民間企業があらかじめ多めに確

## 国土強靱化

保しておいて、通常通り先入れ先出しで販売活動を行う。こうすることで、単価の高い防災備蓄用食品ではなく、通常の食品を防災備蓄用に活用すること（ローリングストック）が実現されている。



BxLink 使用イメージ



岐阜県大垣市にて実施された実証実験

- ・ BxLink は、管理している在庫データを国の物資調達・輸送調整等支援システム

に連携する機能を有しており、データの二重入力を解消するとともにデータ入力率を高めることもできる。

- ・ 本取組を通じた防災備蓄品の最適化により、避難所における食にまつわる災害関連死（糖尿病等により、食事制限・療法を行わないと命に係わる場合がある）の防止、災害が発生した際に協定先の小売店で商品の奪い合いが発生するため自治体が十分な物資を確保できない、といった問題を解消する。

## 2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・ 自組織の備蓄品目や数量の「定期更新」を行うことで、常に最新の備蓄状況を組織間で共有できるようにしている。
- ・ 和歌山県すさみ町では、平時の段階から防災備蓄の情報を観光ポータルにも表示し、観光客への認知活動アップにかかわる実証事業を行っている。

## 3 現状の課題・今後の展開等

- ・ 本取組は、導入自治体や企業が増えれば増えるほど全体最適化の余地が広がるため、現状のいくつかの地域で実証的に進んでいるレベルでは不十分だと考えている。さらなる広域連携に向けては個々の自治体ではなく連携中枢都市圏の検討グループへの提案、経済団体、業界団体などとも連携していく必要があると考えている。

- ・ 今後、自治体、民間企業の防災備蓄品の可視化が進んでいくと、どの地域でどの程度の消費期限切れ食品・用品が出てくるかが明らかになる。そのデータに基づき、フードバンクやこども食堂への物資供給、格安店での転売も可能になると考えられる。

※フードバンク：安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などが寄贈し、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動

※こども食堂：地域住民等による民間発の取組として無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取組。家庭における共食が難しい子供たちに対し、共食の機会を提供する。

## 4 周囲の声

- ・ 以前は、拠点毎にバラバラの Excel ファイルで管理しており、全社ベースでの備蓄品情報を集約する手間が膨大であったが、非常に簡単に管理できるようになった。システム導入をすることで、拠点毎に購買していた備蓄品を本社での集中購買に変更できた。全拠点の備蓄品の充足度合の均一化などが図られ、従業員の安心、安全を守る取組みにも繋がっている。(大手インフラ企業)
- ・ システムを使うことで、職員が備蓄品の在庫状況を把握する作業の負荷軽減や効率化が図られ、防災用備蓄品管理の質が上がる。(自治体職員)

### 担当者の声

- ・ 我が国の防災備蓄や避難所生活にはまだまだ改善の余地は大きいと考えています。自治体や民間企業が横に連携しあうことで住民、従業員が安心して暮らせる社会の実現と、地域の防災力強化を通じて地方創生にも貢献したいと考えています。

### 問合せ先

ベル・データ株式会社 法人番号：4011101019461  
TEL：03-5326-4331

### 動画



### サイト URL

